

2015年
1月19日発売

リ シ ネ
李信恵 著

影書房・最新刊

鶴橋安寧

つるはし
アンニョン

アンチ・ヘイト・クロニクル

978-4-87714-453-1 四六判並製 262頁

定価1,700円+税



TSURUHASHIヨリ

ヘイトスピーチ被害とは？ 在日を生きてとは？

ネットウヨや在特会らの執拗な攻撃に日々切り刻まれながらも、
ネットでリアルで応戦し続けてきた著者。
深刻なダメージを受けながらも、なぜヘイトの現場に立ち、
取材を続け、裁判へと踏み出すことができたのか？
著者を支えた“記憶”と仲間たちのドキュメント。

◆カバー画/挿絵=金明和

李信恵 (リ・シネ)

1971年生まれ。大阪府東大阪市出身の在日コリアン2.5世。フリーライター。
大学在学中から記者としての活動を始め、女性誌や地域情報誌で記事を執筆。現在はインターネットのニュースサイトをはじめ、新聞や雑誌、ラジオなどの媒体でライター、取材記者として活動。日本国内の差別問題、従軍慰安婦問題、教育問題等に取り組む。韓国のニュースサイトやテレビ局などとも提携し、日韓や在日、ヘイトスピーチ問題などについての記事や番組を制作、発信している。「2014年やよりジャーナリスト賞」受賞。日本人の夫、息子、愛犬のキムチ♀と暮らす。

〈帯文より〉

慈悲とは、このことかと思った。
やっと語られたネットの中の声。私は、
読んでいて笑いながら泣いた。
最後は号泣になった。
私たちは、レイシズムという恐怖の中
で立ちすくみ、言葉を失った。そして、
誰も語れなくなった。そこに、李信恵が
先陣を切って飛び込んだ。ボロボロに叩
かれ、まるで日本社会へのいけにえの
ように、匿名世界でのリンチが続いた。
それでも彼女はそこにいる。そうするこ
とで「ネットウヨ」「レイシスト」を、
この社会に戻そうとしている。
軽いタッチで、笑いもこみ上げる彼女な
らではの表現の後ろに、彼女を押し上げ
た日本社会の良心と信恵の叫びがある。
のりこえなっと共同代表 辛淑玉

ご注文書

*書店様記入欄 [取次番線・コード印]	つるはし アンニョン 李信恵 著 #鶴橋安寧 アンチ・ヘイト・クロニクル ISBN978-4-87714-453-1 定価1,700円+税	◀ご注文冊数 冊
	お名前: _____ 電話番号: _____ ご住所 〒 _____ eメール: _____	
【ご担当名: _____】		

影書房

〒114-0015 東京都北区中里3-4-5-101 TEL:03-5907-6755
eメール:kageshobo@ac.auone-net.jp http://www.kageshobo.co.jp/

FAX:03-5907-6756

※ご注文の際は、上の所定欄にお名前・ご住所等をご記入の上、最寄りの書店にお持ち頂くか、小社へ直接ご注文下さい。